

平成 27 年度 校区まちづくり懇談会 意見交換要点筆記

テーマ:まち・ひと・しごと創生について

小学校区:西牟田小

開催場所:西牟田小学校体育館

日 時:10月5日(月) 19:30～

参加人数:57人

【出席者】

市長、副市長、教育長、部長職

【内 容】

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 地元代表あいさつ
4. 筑後市における人口の現状と将来推計について
5. 意見交換

質問①	
男性A	(1)昨年、請願した健康に関する公園の件について市の意見をお聞かせ願いたい。 (2)今年度、介護保険制度が10項目改正している。8月1日からいきなり負担が上がる人がいて、市役所への相談があっているようである。3年前の改正の時の負担の引き上げが大きなものであったとき、副市長などきちんとした説明を行っていた。今回は、それよりも大きな変更であるにも関わらず市からの説明がない。地域の人たちを動かすためには、校区民に対してしっかり説明をしないと本当の意味でのまちづくりはできないのではないかと。要支援1・2の総合事業について、これからどのようなようになるのか。2年間の猶予期間を設けているが、校区と行政がよく話し合うべきである。一方で、要支援1・2の人のゴミ出しについては、今までヘルパーが出していたものをこれからは地域の人で出してもらおうということになる。まさにこれからは地域の人がお互い協力し合って、要支援1・2の方をどのように皆で支え合っていくかという方向に向かわないといけない。
回答①	
総務部長	昨年、地域コミュニティの方からウォーキング公園を整備していただきたいという請願を議会に提出されたが、主旨については理解するとしているが、市の方針としてはまだ具体的には出ていないので申し上げられない。広域公園もあるため、

	<p>市全体の公園の1人当たりの公園面積は非常に広い状況である。このようなこともあり、今回の地方創生での人口を増やす、維持するという観点においては、果たしてファームだけでは取り組むことはできない。そのためにも、今後はソフト面に力点を置いていく必要があると思う。また、北部の拠点施設として、プレイ施設や約4万数千㎡のグラウンドを計画している。</p>
市民生活部長	<p>今回、介護保険制度については大幅な改正があった。ひとつは、2025年に団塊の世代の方が後期高齢者になるということで財源が薄くなるということを見据えた改正だと思われる。要支援1・2の方は市町村が色々なメニューを考えることとなっており、専門的なサービスを受けられている方もいるが、そこまで専門的でなくてもよいという方については地域でどう担って行くかが今後の課題となっている。市でも現在体制を検討している。制度設計の段階であるため、今後改めて校区協議会の方で取組のお願い等をしたいと思っている。平成27年、28年で制度設計を行い、3年後の平成30年の3月から完全移行、平成29年の4月から市町村事業への移行となる予定である。</p>

質問②	
男性B	<p>アンケートでやりたい仕事がないということだが、若者はどのような仕事を求めているのか。また、企業努力はどのようにしているのか。30年ほど前九州松下が長浜に来たが、その後何故筑後市から撤退したのか。</p>
回答②	
市長	<p>企業誘致については、企業からは交通の便はよく、進出をしたいという意見は多く出ている。例えば、長浜のロームの跡地についても、高山という大手の菓子問屋や建設機械を扱う会社も進出した。高江の衛生センターの南側の土地にもホンダユーテックが進出している。セイレイ工業の跡地は、現在ヤンマーなど色々引き合いがあっている。このように、かなりの立地希望がある。今までは、市内の民間の土地をあっせんして誘致をしていたが、段々土地が無くなってきている。農地を工業用地に転用するなどから進めていかないといけないのだが、農振の関係で厳しい状況にある。</p> <p>若い人の定住について、仕事場が福岡など新幹線利用等によって十分通勤が可能である。これから先は、家は筑後にあって職場は福岡や久留米にあるような、交通の便を使った定住人口を増やしていきたいと考えており、現在も色々な定住促進の事業に取り組んでいる。</p>
企画財政課長	<p>アンケートについて、筑後市から転出して就職したいという方の理由を尋ねたところ、希望の職種が筑後市にない、専門的な仕事が少ないなどが挙がっている。これより詳しいことは聞いていないが、決して企業数が少ないということだけの問題ではない。企業の方も従業員の確保が容易でないと回答していることから、ミスマッチが起こっており、これをスムーズにすることができれば若い人が地元に残っ</p>

	て就職できるのではないかと考えている。
質問③	
男性C	来年ソフトバンクが来るが、グラウンド整備など筑後市の雇用はどれだけ期待されているのか。
回答③	
市長	現在、地域連携協定というものを球団と結ぶために話し合いを行っているところであるが、雇用の人数についての具体的な話は進んでいない。

質問④	
男性D	3年程前からさんかく塾に参加している。50人位の登録メンバーがいるが、11万円くらいの補助を貰っていた。コーヒーは補助対象にならないが、お茶は補助が出る。コーヒーとお茶はどう違うのか。
回答④	
市民生活部長	補助基準の関係だと思うが、コーヒーは嗜好品に含まれるため対象から外れているのではと思われる。内容を確認をしたい。

質問⑤	
男性E	企業誘致をしても、地元の人間を採用しないと何にもならない。ソフトバンクで働く人が全員福岡から来たらどうするのか、新幹線もあるし福岡からは通勤範囲内である。5年先、10年先の筑後市を踏まえて、ソフトバンクの誘致が負の財産にならないように、市として考えるべきである。
回答⑤	
市長	市内から従業員を取ることは大事であるが、固定資産税等の税収の面もある。例えば新しい会社が来た場合、助成する等の条件を付けることは出来るかもしれないが、一般的には筑後市の土地を気に入ってその場所を利用するのであれば、市内から何人従業員を確保して下さいとは言えない。ソフトバンクは企業誘致の一環であるが、意味合いが違う。誘致をすることによって筑後市の知名度が上がる。また、2軍の試合があることで筑後市に集客があり、地域経済の活性化にもなる。このようにソフトバンクには色々な狙いを持って誘致しているため、従業員の確保だけが目的ではない。

質問⑥	
男性B	昨年ここで議論したが、消防ホースの維持管理をどうするべきか、きちんとした

	<p>市の指導方針を出してほしい。消防ホースを長く使う方法を消防に尋ねたところ、最低1年に1回はホースに通水して乾燥させないといけないという指導があった。それが、あるポンプ屋に尋ねたところ、それはしなくてよいとの事。また、消防ホースは1本1万7千5百円で購入しているが、ポンプ屋に聞いたところ、そのくらいの金額のホースなら 2、3 年で駄目になる、最低2万4千5百円くらいでないと、消防が使っているのはもう少し高い値段のものである、とのことであった。また、学校に干してもよいという約束は取り付けているものの、ホースを 35 本も干す場所がない。昨年も申し上げたが、長年使用しているホースは傷んでいる。劣化をするのは分かっているのだから、管理の仕方や何年くらい持つものかなど指導して頂きたい。補助金の5万円では、換えようと思っても1年に3本しか交換できない。今までそのような指導が全然されていなかった。現在も 20 年前のホースを使っている所もある。この際、100%補助金を出しても適正なホースに交換しないといけないのではないか。それができないのであれば、ホースの格納箱をなくすとよい。久留米市はホースの格納箱はないとのこと。</p>
<p>回答⑥</p>	
<p>消防長</p>	<p>はっきりした数は今申し上げられないが、現在市内には何百箇所の消火ボックスが存在する。消火ボックスの管理については今まで通り行政区にてお願いしたいと考えている。ホースの管理の仕方については、毎年1回の通水でそのホースの劣化状況を確認できるのではないか。水が残っていると劣化が進んでしまう。</p> <p>確かに消火栓ボックスは今までは行政区が管理し、消防本部は管理していない状況であった。消防本部の職務上、各地域の消火栓を使う必要があるので 2、3ヶ月に1度は各消火栓などの調査を行っている。去年は全ての消火栓を確認し、器具が足りないなど適正に使用できない所があれば各行政区長と話し合っている。</p>
<p>市長</p>	<p>消防ホースを全て市が100%補助で換えるか、若しくはなくすかということは持ち帰って検討させて頂きたい。</p>

6. 閉会